

急性期医師が、 なぜ医療介護連携!?

～膵胆道がん診療を通じた気づきと実践から～

価値観が多様化・個別化している現代。

まず自分の QOL、同時にみんなの QOL を向上するためには、「形式化」から始めるのではなく、感覚に従った「あり合わせの組み合わせ」から始める。

そして、色んな「大体〇〇したら上手く行く」方法を見つけて行くことが大切なのです。

《日時》 **9月17日** (火)

18:15～20:30 17:45 受付開始

参加
無料

《会場》 恵庭市民会館 3 階中ホール (定員 150 名)

《内容》 講演、交流 (意見交換会)

《講師》



松永 隆裕さん

(医師・介護支援専門員・
北海道フードマイスター)

・市立釧路総合病院、道都病院、手稲溪仁会病院、札幌厚生病院など道内各地の急性期病院での豊富な診療経験を持ち、現在、札幌里塚病院内科科長として病院での診療の傍ら在宅医療にも積極的に取り組む。



高野 圭子さん

(介護福祉士・介護支援専門員)

・サービス業・医療事務の仕事を経て介護業界へ。デイサービス・地域の多世代サロン運営・訪問介護を経験後、ケアマネジャーとして現在居宅介護支援事業所はる清田(札幌市清田区)に勤務。

参加のお申し込みは FAX またはメールで。

【お問合せ・お申込み】

連携センター りんく (恵庭市在宅医療・介護連携支援センター)

☎ 36-0101 Fax 37-5066

✉ enw-ikrcenter@megumino.or.jp <申込期限 9月9日(月)>

*** 資料準備の都合がありますので事前申し込みにご協力ください
なお、定員(150名)に達し次第申込終了とさせていただきます**

主催：恵庭市在宅医療・介護連携支援センター

共催：恵庭市

後援：恵庭市医師会 恵庭市歯科医師会
北海道リハビリテーション専門職協会

札幌薬剤師会千歳支部 恵庭市介護支援専門員連絡協議会
北海道医療ソーシャルワーカー協会